

施策 47

スポーツの推進

目的

「する」「みる」「ささえる」を誰もが楽しみながら実践し、新たな価値につながるスポーツを推進します。

POINT

「楽しさ」や「喜び」を感じ、多様な人々と互いにつながりながら、ワクワクするスポーツ活動機会を創出

主な課題

- 1 高齢化率が年々高まり、健康で日常生活が制限されることなく生活できる期間を伸ばしていくため、スポーツの役割が期待されています。そのため、年齢や性別、障害等の有無に関わらず、全ての人がスポーツに取り組める機会の創出が求められています。
- 2 立川市をホームタウンとするプロスポーツチームとの連携や、多くのボランティアが参加する立川シティハーフマラソン等、「する」「みる」「ささえる」を具現化する様々な取組があり、スポーツが文化として定着する持続的な取組が求められています。
- 3 スポーツを日常的に楽しむための指導者の育成や、中学校部活動の地域連携・地域移行への対応等、ハードとソフト両面の環境整備が求められています。
- 4 スポーツ施設は、多くの施設で老朽化が進んでいるため、安全かつ安定的に利用ができる施設環境整備を計画的に実施していく必要があります。

市民・団体・事業者との協力

- 団体・事業者は、スポーツを通して市民と交流し、相互に理解を深めながら互いにつながります。
- 市民は、スポーツに楽しみながら主体的に取り組み、心身の健康づくりに努めます。
- 市民は、プロスポーツチームを観戦する機会や、スポーツをささえる活動等を通じて、スポーツに親しみます。

個別計画

主要	● 立川市第3次スポーツ推進計画
関連	—



地域とプロスポーツがつながる、プロスポーツ連絡会



親子でゴール！

基本事業

- 1 誰もがスポーツを楽しむ機会の創出
 - 勝敗や記録を競うものだけでなく、余暇時間や仕事時間等を問わず楽しみながら健康につながるスポーツ活動の普及・啓発を推進します。
 - 年齢や性別、障害の有無に関わらず、誰もが楽しみながらスポーツに取り組めるよう、スポーツ協会やスポーツ推進委員等と連携してスポーツを楽しむ機会の創出に取り組みます。
- 2 交流と連携によるスポーツ文化の形成
 - 市内の多岐にわたる関係団体との連携関係や、これまで築き上げてきた市が有するスポーツ資源を未来に引き継ぐためのしくみづくりに取り組みます。
 - 立川をホームタウンとするトップチームとの連携や、立川シティハーフマラソン大会等を通じて、多様な交流機会を創出し、スポーツを通じたシビックプライド※の醸成に取り組みます。
- 3 スポーツ環境の充実
 - 多様化するスポーツニーズをとらえ、より多くの市民がスポーツを楽しむことができるスポーツ施設の有効活用・利用促進に取り組みます。
 - 市内の各スポーツ団体や地域の多様な人材がスポーツを通じて地域に貢献し、活躍できる環境づくりに取り組みます。
- 4 スポーツ施設の整備・マネジメント
 - スポーツ施設の今後のあり方や方向性を示した「体育施設のあり方」に基づき、安全で使いやすいスポーツ施設の整備に取り組みます。
 - スポーツ施設の老朽化を見据え、施設の適正規模や配置、機能の集約化等の課題について多角的に検討するとともに、市民のスポーツニーズに応じたスポーツ施設環境の向上に取り組みます。

基本事業	成果指標	基準値 (R5 年度)	目標値 (R11 年度)
1	週1回以上スポーツを行っている市民の割合	53.2%	60.0%
2	プロスポーツチームやスポーツ関係団体等との連携事業数	54 事業	65 事業
3	市スポーツ施設利用者数（屋内／屋外）	811,603 人	1,000,000 人
4	スポーツ施設の中長期的な維持管理・整備計画の策定施設数	—	26 施設